



## 1 第2610地区学友会 創立20周年「新たな一歩」

第2610地区米山学友会の創立20周年記念式典が5月16日に開催されました。

記念式典には、地区内のガバナー

・ガバナーエレクト・ガバナーノミニー・パストガバナーをはじめ、地区米山委員長・委員、カウンセラー、現役奨学生・学友と、地区を挙げての集まりとなりました。また、国内5地区の米山学友会代表者も集結し、参加した約80人が節目を祝いました。

式典では、20年の歩みの紹介や表彰が行われたほか、記念講演として輪島塗の田谷漆器店代表の田谷昂大氏が登壇。家業の被災体験と能登復興への熱い思いを語り、会場は深い感動に包まれました。翌日はバスで能登へ移動し、復興支援活動を実施。七尾RCから心の復興に焦点を当てた支援活動の紹介を受けた後、穴水町の千手院にて能登キリシマツツジの苗木57本の植栽を行いました。その後、お堂の中で琴の演奏を聴きながら抹茶のおもてなしを受け、奨学生の感謝のスピーチが全員の胸を打ちました。



同地区学友会の範雋偉会長（2015-17／小矢部RC）は、「米山学友、ロータリー会員、関係者相互の絆を一層深めるとともに、

能登復興への思いを共有し、次の未来へ向けた新たな一歩となる大変有意義な機会となりました」と述べ、地区一丸となって奉仕の絆を深めた一同は、今回の節目を契機として、2028年に同地区で開催予定の「米山学友による世界大会」の成功へ向けて、さらに学友会活動を盛り上げていくことを誓い合い、2日間の充実したプログラムを締めくくりました。



苗木の植栽をする参加者たち

## 2 米山学友からの高額寄付「優秀な学生たちのために」

中国出身の米山学友で、東京赤坂RC会員の千葉鴻儀さん（1990-91／熊本グリーンRC）が、優秀な学生たちを支援したい、との思いから500万円の寄付をしてくださいました。そのメッセージをご紹介します。



【千葉鴻儀さん】

今回の寄付は、米山奨学会への恩返しです。経済的に困窮している時期に受ける奨学金が、苦学生にとっていかに大きな支えとなるのか、その重みは、経験した者にしか分かり得ないものだと痛感しております。これまでも毎年100万円ほど寄付を続けてまいりま

したが、今回は、よりまとまった形でお役に立ちたいと考えました。中国のことわざ「受恩滴水、報恩湧泉（一滴の水の恩には湧き出る泉のごとく報いるべし）」という言葉がありますが、私は今、まさにそれを実践しております。母校である熊本学園大学にも、当時の指導教授の名を冠した奨学金を設立いたしました。志ある優秀な学生たちが、経済的な理由で夢を諦めることなく学び続けられるよう、少しでも力添えができれば幸いです。ロータリー会員の皆さまが持つ慈愛の心と人間愛が、これからも世の中に広く伝わっていくことを切に願っております。

### 3 寄付金速報 一今年度の寄付実績は6月30日(火)まで一

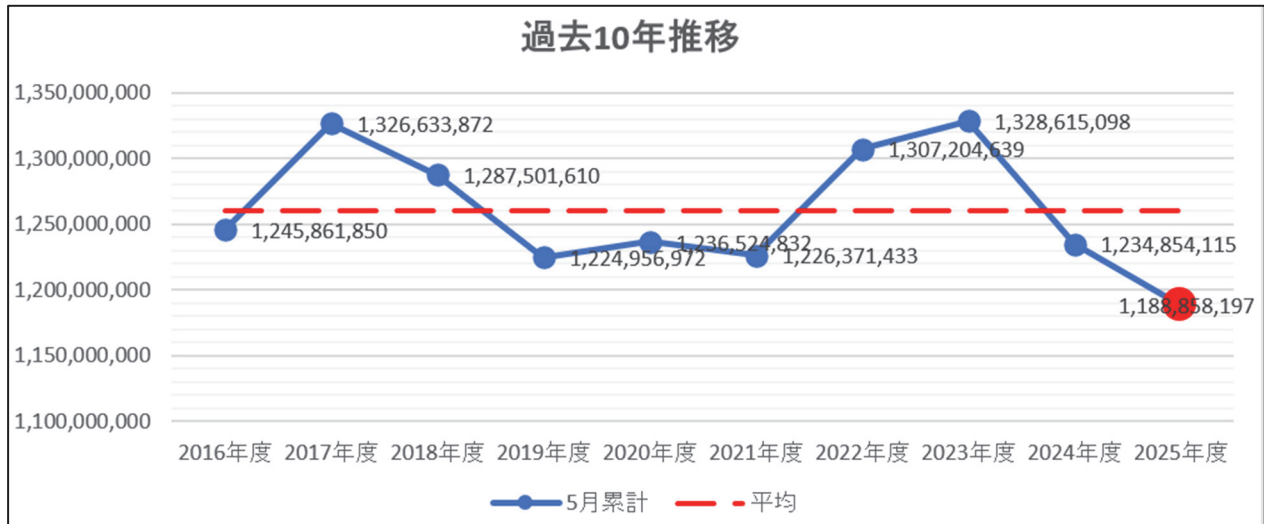
前年同期比

-3.7%

普 +0.3% 特 -5.7%

5月末までの寄付金は前年同期と比べて3.7%減（普通寄付金:0.3%増、特別寄付金:5.7%減）、約4,600万円の減少となりました。過去10年で最

も低い水準となっており、過去10年の平均累計寄付額と比較しても約7,000万円下回っております。今年度も残り約3週間となりました。2025年度の寄付実績は、普通寄付金、特別寄付金ともに、6月30日(火)までに当財団の銀行口座に入金記帳された分までとなります。引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。



### 4 スリランカ米山学友会 創立10周年記念式典開催

5月31日、スリランカのコロンボにてスリランカ米山学友会の創立10周年記念総会が開催されました。式典には、磯俣秋男駐スリランカ特命全権大使、元RI会長のK. R. ラビンドラン氏、第3220地区ガバナーのデルヴィンペレイラ氏が臨席。当財団からは大久保章常務理事が出席したほか、日本からも多数のロータリー会員が集結。また、台湾の米山学友23人が参加し、会場には102人が集いました。



エクト紹介として、医療機器寄贈など、関わったクラブへの感謝状贈呈が行われ、感謝に満ちた総会となりました。

式典は、スリランカの伝統舞踊で華やかに始まり、同学友会会長のサマンタテリジャゴダさん(2000-01/羽島RC)の挨拶、続いて大久保常務理事、磯俣大使、ラビンドラン氏、ペレイラ氏が祝辞を述べた後、学友会のこれまでの歩みが紹介されました。学友会10周年特別プロジ

総会に先立ち、前日に前夜祭、31日午前にはコロンボのシティツアーを開催。戦後日本の主権回復と国際社会復帰への道筋を開いた最大の功労者の一人として知られる同国初代大統領、J. R. ジャヤワルダナ氏の記念館を訪問するなど、スリランカの街と歴史に触れる貴重な機会となりました。



記念館を見学